

ようこそ！永納山城へ



永納山城跡キャラクター「永納さん」

1 はじめに

西条市では、今年 1 月から永納山城跡の発掘調査を開始しました。

これまで実施してきた調査は、遺跡の概要を明らかにすることが目的でしたが、今年度から開始した調査は、史跡を保存・整備していく予定地の遺構の状況を把握するための調査です。

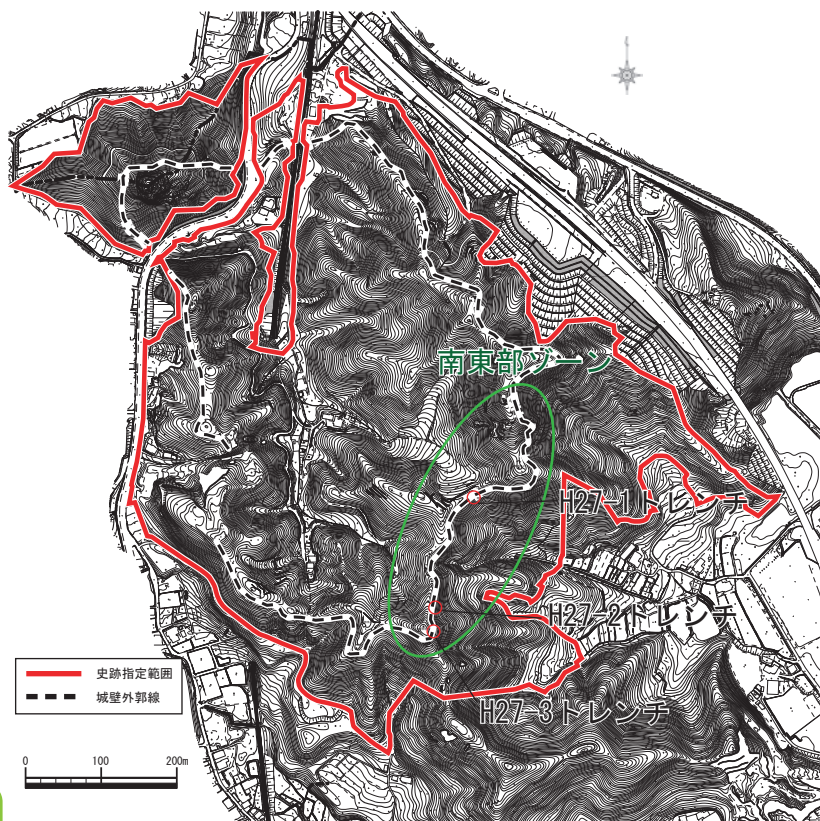
これらの調査成果が、今後の具体的な保存・整備手法を検討するための重要な材料となります。本日、これからご覧になる遺構が数年後、どのように保存・整備されているのか楽しみにしててください。

2 調査概要

- (1) 調査期間：平成 28 年 1 月 18 日～ 3 月末予定
- (2) 調査場所：遺跡南東部ゾーン
(城壁を長区間にわたりラインとして把握できるような整備を目指すゾーン)
- (3) 調査内容：城壁の現状を確認し、土塁の復元や列石の積み直し等のために必要な情報を収集しました。
- (4) 調査箇所数：3 か所



南東部ゾーンでは、平成 23 年度の調査で良好な土塁を確認しています。



永納山城跡の概要については、パンフレットをご参照ください。

3 各トレンチの状況

(1) H27-1 トレンチ

調査目的：本トレンチ周辺は、土塁を復元する候補地です。H23 年度に本トレンチの北側（H23-1 トレンチ）で良好な土塁を検出したことから、土塁の復元範囲や復元手法を検討するデータを得るために、その南側で調査を実施しました。

調査結果：トレンチの北半部では、H23-1 トレンチから続くであろう土塁を確認しました。しかし、この土塁はトレンチ全体には広がらず、南半部では地山を検出しました。これはこの場所が、ちょうど人工的な城壁と自然地形を利用した城壁の境に位置することを示しているのかもしれませんが、幅 3 m の調査結果のみでは、それを判断することはできません。そこで、来年度はこの 2 つのトレンチの間やさらに南側を調査することにより、この謎を明らかにしていく予定です。



H27-1 トレンチ完掘状況
(東から)



H27-1 トレンチ完掘状況
(南から)

(2) H27-2 トレンチ

調査目的：本トレンチの周辺は、過去の調査で列石が長区間（約 16m）にわたり現存していることが確認されていることから、列石を露出させたりして城壁をラインとして実感できるよう整備を行う予定です。

しかし、列石の背後の様子については、これまで調査されていなかったため、その状況を把握するために調査を実施しました。

調査結果：列石は、本来の位置を良好に保った状態であることが確認できました。しかし、背後には、土塁の痕跡を全く確認できませんでした。急傾斜な地山の状況から判断すると、もともと土塁が築かれていなかった可能性が高いです。



H27-2 トレンチ完掘状況
(東から)



H27-2 トレンチ完掘状況
(北東から)

(3) H27-3 トレンチ

調査目的：本トレンチの周辺も、城壁をラインとして実感できる整備を実施する予定の場所です。
しかし、表面観察から確認できるだけでも列石が約 11m にわたりずれ落ちた状態であることが知られていました。

そこで、列石の崩落状況を確認し、今後の保全・整備の手法を検討するために発掘調査を実施しました。

調査結果：列石を据えていた面は崩壊していたため確認できませんでしたが、トレンチの周囲に残っている列石との比較により、トレンチ内の列石は約 80 cm ～ 1 m ずれ落ちていることが明らかとなりました。

今後は、周辺の残りの良い城壁と比較検討した上で、保護の方法を検討していく予定です。



H27-3 トレンチ完掘状況（東から）



H27-3 トレンチ周辺列石推定ライン（北東から）

4 環境整備

永納山城を未来に残し活用していくためには、遺跡の築かれた山自体を適切に維持・管理していかなければなりません。

そのために、遺構の保全・整備とともに計画的な樹木管理（伐採や植樹）、散策路の整備等を実施し、快適な空間創りを目指していきます。

西条市では、このような保全や整備の段階から、市民の皆さんと協力しながら事業を進めていきたいと考えています。

今後ともご協力、よろしくお願いします。

古代山城サミット西条大会 平成 28 年 9 月 30 日（金）・10 月 1 日（土）開催

詳細は、随時ホームページ等でお知らせします。

